

単独布教出發御礼共に御願祭文

これの神床に目標としてお鎮まり下さいます 親神天理王
命の御前に天理教 分教会長 慎んで申し上げます

この度親神様の深い親心とご存命の理を持ってお働き下さる教祖のお蔭により教祖百年祭に向かつて東西礼拝場ふしんにかかられるこの旬に は 市に七転八起の勇を鼓し単独布教に出させて頂き 先ず 講を結成する事に相成りました

顧みますれば身上の回復を願ってこの に伏せ込んで以来長の年限 ひのきしんに にをいがけに又おたすけにと道一条の明け暮れを過ごし 教会活動の一切を手がけてひたすら成人の道を辿って参りましたが やはり未信者に神名を流す時間を多く持つことこそよふぼく本来の使命と 改めてその実践にふみ切ることと相成りました

広い世界の中なれば 救けるところはままあろう

と みかぐらたに仰せ下さっておりますが 私たち人間の元の親実の親を知らず 我が身が親神様からのかしまのかりものであることもわきまええず 徒らに己が知恵や力だけを頼んで闇路をさすらっている人々の数は巷に溢れております

どうか親神様御本部の神殿ふしんと云う千戴一遇のふしなればこそ 未開地開拓の道を真一文字に進もうとする真実を充分にお受取り下され これを機会に○○分教会全体が布教意欲に燃え上り 思召下さる陽気ぐらしの輪が 私たちの周囲に格段と拡がって参りますようお連れ通りの程を慎んで御願ひ申し上げます